

市役所等の地球温暖化防止活動

平成27年度地球温暖化防止活動実践結果
エネルギー等使用量減も
CO2排出量は増



地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇やそれに伴う北極海域の海水面積の縮小化、局地的集中豪雨など世界的異常気象が続いています。国は、平成9年に温室効果ガスの削減を定めた「京都議定書」により「地球温暖化対策の推進に関する法律」を公布しました。これは、社会経済活動による温室効果ガス排出の抑制等を促進し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としたものです。このなかで、各地方公共団体の事務や事業に係る温室効果ガス排出抑制計画の策定、実践結果を公表することが義務付けられています。

市役所等の実行計画

本市では、同法律に基づき平成18年1月に「枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を策定しました。計画では、平成12年度を基準年とし、平成18年度から22年度までの5年間で6%

は44.7%の増加となりました。※電気の使用に伴うCO2排出係数
II 電気を作るために排出されるCO2排出量、原子力発電所運轉停止に伴い、火力発電所等の運轉増により係数が大きくなっています。

の温室効果ガスの削減を目標として実践し、10.1%の削減を達成しました。引き続き、市の事務や事業に関し、率先して地球温暖化対策を推進するため、平成23年4月に「第2次枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を策定しました。平成21年度を基準年に平成23年度から27年度までの5年間で、5%の削減を目標に実践してきましたが、原子力発電所運轉停止に伴い、電気の使用に伴うCO2排出係数が大きくなったため、34.2%の増加となりました。

27年度は44.7%増加

平成27年度の温室効果ガス総排出量は、約5628トンを基準年(平成21年度)に比べ1737.8トンの増加しました。これは、昨年同様「電気の使用に伴うCO2排出係数」が計画初年の平成23年度に比べ、約1.72倍となったことが大きく影響し、温室効果ガス総排出量

参考として、下左表の右欄に平成23年度の排出係数で試算した結果では、29.3トンの削減(%)の減となりました。具体的には、平成27年度の電気使用量は基準年と比較して約8.3%減少し、ガソリンなどの燃料使用量は約8.9%減少しました。

国では、京都議定書目標達成計画の計画期間終了の平成24年度末以降、新たな地球温暖化対策計画は策定されていません。しかし、政府は当面の方針として、京都議定書目標達成計画に掲げられたものと同等以上の取組を推進することを地方公共団体や事業者等に求めています。市では、このような状況を見極めながら今後も温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。

■問合せ 市民生活課環境整備係 TEL 721111(内線327)

給付金

臨時福祉給付金及び
障害・遺族年金受給者向け
給付金について

臨時福祉給付金は、平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対し、昨年度に引き続き臨時的な措置として実施します。

また、障害・遺族年金受給者向け給付金は、賃金引上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者を支援するため、実施します。制度の詳細は、厚生労働省特設ホームページ(https://www.zkyufujp)をご覧ください。

支給要件

臨時福祉給付金

支給対象者 次のすべての条件を満たす方
・平成28年1月1日現在で、枕崎市に住民登録がある方
・平成28年度市県民税(均等割)が課税されていない方
・市県民税が課税された方の扶養親族になっていない方

申請について(共通)

申請方法 対象と思われる方には、9月初旬に申請書を送付します。申請会場または郵送で申請してください。
必要なもの 申請書、免許証または保険証のコピー等(支給対象が複数の場合は全員分)、在留カード(外国人の方)

方)、申請者の通帳のコピー、印鑑

※代理申請の場合は、代理人の免許証または保険証のコピー等と印鑑も必要
申請期間 9月12日(月)～12月12日(月)
受付時間 平日、午前8時30分～午後5時15分(正午～午後1時を除く)
※期間中に申請されなかった場合、給付金を支給できませんのでご注意ください。

申請会場 市役所北別館会議室(福祉課へ変更になる場合があります)

支払予定 申請受付から支給までに約2カ月かかります。11月末から口座振込で支給を開始します。両方の支給対象者に該当する方は、2つの給付金を受給できます。
※審査の結果、「不支給」とならないため、「不支給」となる場合もあります。

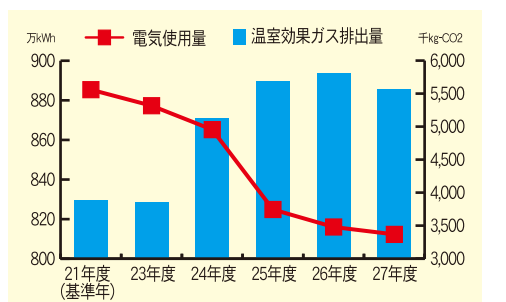
「振り込め詐欺」や「個人情報」の詐取にご注意ください

申請内容に不明な点があった場合、市から問合せを行うことがあります。ATM(現金自動預払機)の操作をお願いすることや、支給のため

平成23年度から27年度のCO2換算温室効果ガスの排出量(市全体、対基準年)

年度	単年度		累計	
	対基準年	対基準年	対基準年	対基準年
平成21年度(第2次基準年)	3,890,634.2		17,456,038.7	
平成23年度	3,855,157.0	▲0.9%	3,855,157.0	▲0.9%
平成24年度	5,125,481.0	31.7%	8,980,638.0	15.4%
平成25年度	5,687,026.4	46.2%	14,667,664.4	25.7%
平成26年度	5,805,320.5	49.2%	20,472,984.9	31.6%
平成27年度	5,628,492.5	44.7%	26,101,477.4	34.2%

電気使用量と温室効果ガスの排出量比較



平成27年度CO2換算温室効果ガスの排出量(対基準年)

対象	種類	平成21年度(基準年)		平成27年度		【参考】排出係数平成23年度数値使用			
		構成比	構成比	構成比	対基準年	構成比	対基準年		
市役所	CO2	2,182,679.1	95.4%	3,147,501.6	96.8%	44.2%	1,948,456.3	94.9%	▲10.7%
	CH4	27,766.7	1.2%	27,584.9	0.8%	▲0.7%	27,584.9	1.3%	▲0.7%
	N2O	77,243.1	3.4%	76,682.8	2.4%	▲0.7%	76,682.8	3.8%	▲0.7%
	計	2,287,688.9	100.0%	3,251,769.3	100.0%	42.1%	2,052,724.0	100.0%	▲10.3%
消防署	CO2	55,241.1	98.5%	66,931.3	99.3%	21.2%	54,122.8	99.1%	▲2.0%
	CH4	42.9	0.1%	26.9	0.0%	▲37.3%	26.9	0.1%	▲37.3%
	N2O	763.5	1.4%	437.2	0.7%	▲42.7%	437.2	0.8%	▲42.7%
	計	56,047.5	100.0%	67,395.4	100.0%	20.2%	54,586.9	100.0%	▲2.6%
衛生管理組合	CO2	1,420,260.2	91.8%	2,172,527.8	94.1%	53.0%	1,353,633.5	90.8%	▲4.7%
	CH4	9,416.0	0.6%	11,522.5	0.5%	22.4%	11,522.5	0.8%	22.4%
	N2O	117,221.6	7.6%	125,277.5	5.4%	6.9%	125,277.5	8.4%	6.9%
	計	1,546,897.8	100.0%	2,309,327.8	100.0%	49.3%	1,490,433.5	100.0%	▲3.7%
合計	3,890,634.2		5,628,492.5		44.7%	3,597,744.4		▲7.5%	

※CO2(二酸化炭素)…代表的な温室効果ガス。石油、石炭等の化石燃料が主な発生源
※CH4(メタン)…稲作、家畜の消化管内発酵、廃棄物の埋め立てなどから発生
※N2O(一酸化二窒素)…窒素肥料の使用、工業製品の製造などにより発生
※衛生管理組合の数字は内鍋清掃センター、共同斎場、衛生センター分を表示

防災

枕崎市防災訓練を実施

大規模地震発生による地震・津波等の災害発生に迅速に対応するため、枕崎校区で市防災訓練を実施します。

日時 9月18日(日) 午前9時～(雨天決行。訓練中止時は、防災無線でお知らせします)

場所 市民会館

内容 折口町、西本町、住吉町、千代田町、緑町、市内各自主防災組織、関係機関が参加し、地震及び津波等の対策訓練として、自助・共助による避難訓練や応急処置訓練等を行います。

防災無線のサイレン吹鳴等
○避難指示・勧告17秒吹鳴3秒休止を3回繰り返し、その後、音声放送をします。

ください。

■問合せ 福祉課社会係 TEL 721111(内線135)
●制度に関する問合せ 厚生労働省専用ダイヤル TEL 0570037192

(該当地域のみ)

※当日は、訓練のメイン会場となる市民会館周辺への駐車はできませんので、市役所周辺の駐車場をご利用ください。なお、駐車台数に限りがありますので乗り合わせてください。

※訓練の間は、市民会館の周辺道路は交通規制がされていますのでご注意ください。
※訓練に際し、サイレン等を吹鳴します。災害と間違わないようにしてください。

■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL 721111(内線214)